

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」秋田駅東校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		環境整備、活動に合わせてスペースを変えている。	
	②	職員の配置数は適切である	3	2	緊急事態などの場合は行政に確認し、大町校と連携して適正な人員配置を取っている。	期の途中で体調不良、結婚退職など退職が続いたが、職員の補充を行い、法定基準人員を満たした運営している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	室内はバリアフリーになっており、視覚的にわかりやすいような掲示を心掛けている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		毎日、清掃・衛生対策を行っている。又、利用児に合わせた支援室のレイアウトにしている。（机や椅子も変えている。）	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	新職員にも理解を促し、mtg だけでなく、気づいたことを伝えあっている。	全職員が目標を理解し、実行すべき内容に優先順位をつけ行動できよう評価し FB を行っている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		毎年、事業者評価のアンケートを実施している。	意見を反映させ、改善策を考えている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		毎年HP上で公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	法人として、他地域、他校舎からの監査を定期的に行い、評価、提言などを行っている。	今後、検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		外部・内部の研修に積極的に参加し、研修報告を行っている。	内部研修は全職員が参加している。外部研修についても全員参加できるよう調整していく。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		お子様の状況、保護者様の意向を踏まえ、担当者会を開き作成している。	

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		社内、標準化されたツールを使用している。		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1	ガイドラインに則り、相談事業所のサービス提供書、保護者様・子どもの意向を伺い、支援内容、目標を決めている。		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		児発管及び管理者が支援プログラムを確認し、計画にあった内容か確認している。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2	年間・月間計画を立て、担当者決め、主担当を中心にミーティングを行い、イベントを開催している。	担当だけでなく、他の職員の意見も柔軟に取り入れていく。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		都度、成長に合わせて見直しを図っている。	継続プログラムとスモールステップでのプログラムの構成のバランスを図っていく必要がある。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	4		小集団イベントも盛り込んでいる。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎朝、スモールミーティングを行い確認している。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		毎晩、スモールミーティングを行って情報共有している。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		ケース記録をとり、継続課題や子どもの状況などを細かく共有している。		
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		6カ月に1度以上モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。		
	関係機関や保護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		管理者・児発管、主担当者が担当者会議に参加している。	児発管と主担当2名で参加できるように調整していく。
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		担当者会議以外にも、連携し情報共有を行っている。	

者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	2	担当者会議以外にも、連携し情報共有を行っている。	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	2	紙面でのやりとりを行っている。	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		担当者会議以外にも相互の事業所を行き来し連携を図っている。	連携機関を増やしていく必要がある。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		担当者会議が主となっている。	担当者会議以外にもメールや電話でやりとりできる機会を増やしていく。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		担当者会議が中心になるが意見交換や助言を頂いている。	ふきのとう秋田主催の研修に積極的に参加している。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	1	無料イベントを行い、地域のお子様と触れ合う機会を設けている。	昨年度は2回開催している。定期的に開催し、交流をふかめていきたい。
	保護者への説明責任等	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1	児童部会・就労部会など積極的に参加している。
㉗		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1	支援後にFBや連絡帳、個別にメールなどでもやり取りを行い、共通理解できるように努めている。	
㉘		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3	ペアレント・トレーニングを行える職員に限られている。その他、保護者・お子様のニーズに合わせて支援をおこなっている。	ペアレントトレーニング・care未受講の職員に、研修参加を促していく。
㉙		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時、説明し同意を頂いている。	わからないことなど、たずねやすいようにしていくとともに、変更などあれば、随時個別で説明していく。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	1	個別支援計画の作成後、保護者様に説明を行い、同意を頂いている。	
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		状況に合わせ、電話やLINEでお話を伺う	

				る。また、対面で事業所内相談を実施している。		
③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	1回開催することができた。	開催の回数など増やしていけるよう検討していく。	
③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	苦情窓口の体制を整えている。(契約時に申し入れ窓口を知らせている。)		
③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	LINE・Instagram・HPなどで随時発信している。		
③8	個人情報の取扱いに十分注意している	5		取り扱いには最新の注意を払っている。		
③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	夏・冬に無料開放イベントを実施。	開催の告知の方法を工夫していく。	
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	毎月、実施している。	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	毎月、実施している。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		契約時にフェイスシートで確認している。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		該当なし	該当なし
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	都度、シートに記入し報告している。年度ごとにファイルでまとめ事例を保管している。	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		全職員研修に参加している。また、委員会を開き情報共有を行っている。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		委員会を設置し契約時、保護者に説明し、同意を頂いている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」秋田駅東校 保護者等数（児童数）：5 回収数：3 割合：60.0%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	1			徐々に改善している感じはします。やはり人数が増えたり活動の内容によって狭いと感じたりするところはあります。	昨年度、事務室と活動スペースにハードパーテーションで仕切、ドアを設置しました。まだ不十分な箇所もあるかと思いますが、活動に合わせてスペースを変え環境を整えています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2			1	信頼していた先生たちがやめていかれるので、新しい先生に慣れるのか心配です。最低でも3人はいてほしいと常に思っていて、専門性についてはこれからに期待しています。	昨年度、結婚や進学で退職者が出ましたが、都度、職員を補充し、基準人員を満たして支援しております。有資格者の職員の他に非常勤の職員も増員となりました。職員のスケジュール調整を適切に行っています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2		1		生活空間も徐々に良くなっていると思います。(バリアフリーや)情報共有は改善の余地があり、今後考えていただきたいです。	室内はバリアフリーになっており、視覚的にわかりやすいような掲示を心掛けています。保護者様の意向や支援内容など、職員間で情報共有を徹底してまいります。

	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3				子供が気に入っているようでした。	お子様や保護者様が過ごしやすいよう、清掃・衛生対策を行っています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3				計画が立てられて、スモールステップではありますが、サポートしてもらっているお陰で色々成長しています。	お子様の成長合わせ、計画を見直し、支援させていただいております。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3				本人の成長やこだわりに配慮かつ親の意見に沿った支援をしてくださっています（できる、できないとまた別の話です）。	保護者様へのアセスメントや支援の様子を踏まえ、支援目標を設定していません。全職員で内容を考え、共有しながら支援に入らせていただいております。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3				本人の成長やこだわりに配慮かつ親の意見に沿った支援をしてくださっています（できるできないとまた別の話です）。	個別支援計画に則り、お子様の状況を踏まえ、毎回プログラムをたて、支援を行なっています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3				半年ずつ計画について振り返りと説明、相談してくださっています。	支援内容を児発管と指導員で相談しながら決めています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2			1		無料イベントで交流を図らせていただきました。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3				最初の時や分からない時に都度説明があります	何かございましたら、遠慮なくご質問いただければ幸いです。
保護者へ								

の 説 明 等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3				少しずつではありますがありますが目標について話しあい、計画を作成してもらって活動していただいています。	お子様の今の姿とあるべき姿を保護者・相談員様と相談しながらよりよい計画を作成させていただいております。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1			2	あればお願いしたいです。	3.4名での開催を計画しております。チラシ、LINEで告知させていただきますので、開催の際はよろしくお願いたします。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3				LINE、電話、対面で情報共有しています。	引き続き、保護者様との情報共有を大切に共通理解できるよう努めて参ります。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2			1	先生と会えた時はほぼ相談を積極的にさせていただきます	いつでも気軽にご相談いただければ幸いです。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1			2		ファミカフェの開催を予定していますので、開催の際はよろしくお願いたします。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3				振り返りの際に、職員さんへの(子供の)情報共有や活動の振り返りを徹底してほしいとお願いしたところ徐々に良くなってきています。	新人職員への情報共有の方法についても改善していけるように研修してまいります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	1			時間に余裕がないのかな、大変なのだろうなと感じる時が多々あり、慣れが解決するのかなと思っています。	人員の入れ替えの際にはご迷惑をお掛けしたと思います。職員の育成にも力を入れて参りますので、よろしくお願いたします。

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1			2	ごめんなさい、ホームページ確認しますね。	毎年、HPで公表させていただいておりますのでご確認頂ければ幸いです。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3					職員間で個人情報の取扱いについて研修しておりますが、何か気になることがあればお知らせください。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2		1		施錠管理徹底 お願いします	契約の際に、各種対応につきまして説明させていただいております。又、毎月、防災訓練を実施しております。施錠に関しましてはお客様の入退室のタイミングで開錠しておりますのでご了承ください。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			2		毎月実施しております。内容につきましてはHPやLINEで発信させていただきたいと思います。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3				クラ・ゼミ行くよ！と言うと、自らファイルを持って車に乗り込みます。	嬉しいお言葉ありがとうございます。今後ご期待に沿えるよう支援してまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3				ここのお陰で数学や平仮名に興味があることに気づき、家でも頑張っています。他の活動も楽しく通わせていただいています。	嬉しいお言葉ありがとうございます。今後ご期待に沿えるよう支援してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。